誌上学習会　2024年1月号　　自宅学習のすすめ　　30

「日本語をそのまま手話に置き換えても通じない。どう手話表現したらよいの？」

12月号に続き、例文を通して日常のおもわぬ「ずれ」に気づき、正しく伝わる表現を学びます。

動画は、①「ずれ」のある会話、②「ずれ」の理由を解説、③「ずれ」のない会話の3つで1セットです。

例文　3　「もう大丈夫」　　　Aさん（ろう者）　　Bさん（聴者）

A : 来週のゴミ拾いの人は集まった？

B : 田中さんと山本さんが行くよ。

A :　私も行きたい。

B : ありがとう。もう大丈夫。

A : 何時に集合？

B : ？？？

☆解説　　動画①のBさんの表現は「大丈夫」

　　　　　　　「大丈夫」は意味を誤解されることがあるので注意が必要です。

　　　　　　　Aさんは「人数はもう足りている。来なくてよい」と断りの意味で使っています。

　　　　　　　Bさんは「OK来てください」という意味に受けとり、集合時間を尋ねたのです。

　　　　　　　では、Bさんの好意に失礼のないように断る手話表現は？

NMM（非手指標識）にも注目です。

＊NMMまたはNM( **N**on **M**anual **M**arker)とは、手話表現で使われる手指以外の動きのことです。

顔の表情(眉、まぶた、視線、口型)、頭や顎の動き、体の傾きなどがあります。

💡ポイント　シャドウイング練習（動画③）をして、意味にあった手話表現を身につけていきましょう。

例文3動画②の解説者の顔の表情や上体の使い方もシャドウイング練習をしましょう。